

第30回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

<ターゲット型：市民運動武庫地区推進協議会の皆さん>

と き	平成30年5月30日（水） 午前10時40分～正午
と ころ	尼崎市武庫支所 1階ホール
参加者等	参加者 8人 市長ほか関係者 22人 合計 30人

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明（職員）

本日は、地域で活動されている皆さんのご意見をいただくため、ターゲット型で実施する。

2 市長からの説明

「自治のまちづくりに向けた地域振興体制の再構築について」の資料に基づいて説明。

コミュニティの活性化に向けて、まず市役所が変わっていかねばならないという話をしており、その体制づくりをしているところです。実は、武庫地区は全6地区の中で一番早くに地区会館と地域振興センターを一つの建物に集約し、コミュニティ活動の拠点として活用するために、新しく建替えたもので、今後、各地区順次建替えていく予定。

資料のアンケート結果を見ると、地域活動に参加していない方の中には、「全く参加したくないわけではないんだけど、きっかけがない」「そうした活動があることを知らなかった」という意見が多くを占めている。

もっとPRして、多くの人に来ていただいて、知ってもらうことが大切。

具体的には、6地区にある公民館（教育委員会所管）と地区会館（市長部局所管）を「生涯学習プラザ」という名称にし、同じ機能・組織とする。受付等は指定管理者（民間）が行い、学校や市役所との連絡・調整機能は職員が行う。地域ごとに予算をつけ、地域の活動を支援していく。

また、職員は小学校単位での配置、具体的には2つの小学校で2人配置とし、補導委員や学校の先生と連携し、地域の事を常に知っている状況を作る。福祉に関しては社会福祉協議会の専門員が各地区に2人いるので、その方々を中心に考える。

ということを考えている。

3 市民と市長との対話

・飯田市に職員が何名か行っているが、長野県とどういう関係があるのか。また、こんな小さい町を選んだ理由は？

⇒この地域は古き良き時代の公民館活動が残っている全国でも珍しい地域。公民館館長は地域の方で、自治会活動と同じように「公民館する」として活動されている。その館長が後に自治会長となり、地域で活躍されている。太陽光発電を市民目線で始めるとか・・・

・武庫支所で印鑑証明などが取れなくなり、わざわざ塚口まで行かないとだめなのか、時代なのか？
⇒市役所本庁でも証明コーナーは混雑しているが、季節的なものでもあるし、頻繁にとるものでもない。それだったら地域の活動にスタッフを配属する方が大事だと思う。

・老人会や高齢者指導員にしても「年寄りに何をさせるんや」と思っている。100歳体操の提出書類にしても複雑すぎて年寄りには難しい。

・西武庫公園の管理が県から市に変わったが、手が回らないのか手入れが行き届いていないと感じる。
⇒担当に伝えます。(後日、担当が現場状況を確認し除草・伐採を実施)

・地域の活動をしている人も高齢化している。自治会も民生児童委員も同じ。中には、育友会活動をしていた人が地域活動に移ってくれて助かる場合もあるが、いっそのこと年寄りをバツサリ切って、若者が仕切ってくれると頼ましい。

⇒地域も一部不便にはなったが、地区に残る機能をどう活性化していくか。地域主導で取り組むべき事業等に市の予算、市民運動の予算を使う。また、地域で「役員をやりたい」と言うのもおかし、色々な人とすそ野を広げ付き合っていく中で、「この人にやってほしい」と若者にバトンを繋いでいく。

・一時期、武庫北公民館の運営をやっていたが、今の改革は面白いなと思った。6つの地区が競争してもいいと思う。市民運動をはじめ、市民の皆さんに参加を呼び掛ける。

⇒健康づくりにしてもまちづくりにしても、自治会に入っていない人ほど参加せず心配。学校単位にすることで変わることを期待する。

・クリーン運動も「何やってるの？」から「やらないと！」と気持ちが変わってきている。

・自分たちの住んでいる場所は住みやすいようにしたい。証明コーナーがないと来る市民が激減している支所に、コンビニで証明書が取れるならその機械を支所に置いてもいいのではないかな。

・飯田市は小さな町だから地盤密着型で進めていてスムーズ。これを尼崎でもできないことはない。コミュニティルームがその場所である。これを6地区統括できないか。

⇒武庫と大庄では地域性が違う。地域の課題は地域振興センターが中心になって解決していく。団体にお金を出すのではなく、その事業・活動に予算をつける。

・今日の資料はわかりやすいが、広報も大切。市報も難しいのを載せるだけでなく、地域版、トピックス版などを作っては？

⇒多様な手法、ネット、スマホ…。しかし公民館でやっていることは、行かない人は全く知らない。

・育友会の仕事をして初めて地域のことを一生懸命やってくださる方がいることを知った。特に、見守り当番は親としてすごく助かっている。最近、公園で遊んでいても子どもの行動を見ていない親がたくさんいる。何かあっても謝らない、してもらって当たり前という親が多い。これは知らないからだなと思う。

「会議にも出てみたい」「まつりにも参加したい」「若い人にも来てほしい」

この新しい建物、支所をそんな場所にしたい。

⇒子ども達と一緒に、子ども達の作品展を支所でやるのも面白い。

・みんなで集まれる場所にしたい。

⇒知られていないことが問題。知ってもらうことが大切。

・公民館も利用者が固定化しているし、高齢化していて大きな場所での活動はしんどい。

⇒きっかけが大切。でも、やってみるとやってよかったと思うようになる。

本日はたくさんの貴重なご意見・お話しが聞けて良かったです。

本日はありがとうございました。

以 上